

## ( ) 小水力部会

高知小水力利用推進協議会（小水協）及び高知県公営企業局と連携し、県内での小水力発電の可能性について調査し、事業化に向けた候補地の検討を行った。

併せて、小水力発電に関する学習会を実施し、小水力発電に関する認識を深めた。

## まとめ

- ・公営企業局が実施している先行プロジェクトの候補地 5 地点及び市町村支援事業の候補地 26 地点のうち、施工性や事業化の可能性を基に絞り込んだ 10 地点と、小水協が地域から収集した情報を共有。
- ・公営企業局は発電事業としての規模（採算性）や用途、施工性を重視して候補地を選定し、小水協は、地域の熱意、規模（採算性）を重視して候補地を選定している。
- ・県内で小水力発電の成功事例を早期に実現することを共通目標として設定。
- ・事業化の可能性として 1 か所に絞り込まず、規模の異なるものを同時並行的に検討することで、検討の途中で計画がとん挫するリスクを回避する。
- ・次年度以降で事業化の検討を進める候補地として 1,000kW 規模 1 地点、200～400kW 規模 2 地点を選定。
- ・数 kW 程度及び用水路を利用したものについては、公営企業局の市町村支援事業や小水協の取組みを通じ、別途支援を継続する。

表. 小水力発電事業化検討候補地

No.	略称・ 地点名	水系	施設種別	利用 流量 (m <sup>3</sup> /s)	有効 落差 (m)	発電電力 賦存量 (kW)	備考
A	三原村 芳井	下ノ加江川	砂防ダム (芳井堰)	2.356	5.8	73.66	水中タービン使用の場合、落差 11m、出力約 200kW 程度が期待できる。
B	土佐町 西石原	平石川	河川	4.400	35.0	830.06	規模が大きいため高効率機器を導入すれば約 1,300kW の規模も可能。
C	安丸 砂防	上葦生川	砂防ダム	3.750	8.00	220.50	水中タービン使用の場合は、落差 13m、出力 350～400kW が期待できる。

## 【勉強会】

◆講演内容 「中国地方の小水力発電～その歴史と課題～」

◆講師 イームル工業株式会社 顧問 沖 武宏 氏

◆参加者数 30 名

・中国地方での小水力発電導入の実績をもとに、その歴史や経緯、今後の展開や課題等について講演いただき、県内での小水力発電の事業化の可能性が認識できた。

## 【次年度以降の課題】

- ・地域の主体（人材）の育成
- ・地元自治体との関係づくり
- ・候補地点での事業モデルの検討
- ・資金調達の手法 など